



暑い夏がやって来ました。ガラガラと照り返す日射しが、まぶたの中にまで突き刺さり、かざした手の隙間から見える青空が、季節が変わったことを教えてくれます。

各地で海開きや山開きも行われ、夏休みを前に、元気になっていく子供たちと、日に日に体力を奪われていく大人たちですが、タイピックのパソコン教室には、連日の暑さを物ともせず元気な生徒さんたちがたくさん来られます。



私たち社員も負けてはいられないと励みになっています。

真夏日を気力で乗り越えたいところですが、生物的な限界もあります。そしてパソコンも暑さは苦手です。十分な暑さ対策で夏を乗り切りたいものですね。



## OA 事務科 いよいよ始まります！

訓練期間：平成26年7月18日(金)～11月17日(月) 4ヶ月コース

7月18日より求職者支援訓練「OA 事務科」(4ヶ月コース)が、本社1階教室で始まります。一般事務に必要なパソコン操作(文書作成、表計算、ホームページ作成等)、経理事務(簿記、会計ソフト等)の実務的な知識技能の習得を目指します。併せて、ビジネスマナーやコミュニケーション能力など職業人として求められるスキルを身に付けます。

知人・友人の方で、仕事就職活動をされておられる方がいらっしゃいましたら、是非、本校で各種資格を取得されてから、お仕事を探されるのがお勧めです。

卒業された生徒さんは、ワード・エクセルは2級～1級に全員合格、日商簿記検定3級もほとんどの方が合格されています！(弊社教室の合格率92%、日商簿記検定は全国の合格率が30～40%の難関です。)

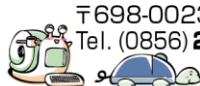
講師一同、生徒さんの資格取得と就職支援に全力でサポートします。

くわしくは、ハローワークへお問い合わせください。



私たちは同じことを、**100回聞かれても笑顔でお答えします。**

**Typic 株式会社 タイピック**



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号  
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番

<http://www.typic.jp>

タイピックでは、OA 機器・印刷・通信・ホームページ作成からスタッフの技術向上のお手伝いまで、オフィスの効率的な運営をサポートさせていただきます。

## 今月の社長のつぶやき

1950年京都大学霊長類研究所が、串間市東部石波海岸から200m沖合にある宮崎県幸島に棲む20匹の猿にサツマイモの餌付けを試み1952年に成功したのです。はじめのころ、猿はサツマイモの泥を手や腕で落として食べていましたが、1953年一匹の猿が川の水で洗い食べはじめたら、他の猿たちにまねられ1957年には20匹中15匹が川の水で洗って食べるようになりました。

面白いことに、12才以上の雄猿は、イモ洗いが群れに定着して10年経ってもしなかったのです。こうしたことは人間にも当てはまるように思います。ボス的立場の男性ほど新しい流れに抵抗するのが現実ですから、やはり猿と人間は似ているようです。

その後、猿たちは海水でイモを洗って食べるようになりました。そうしたあるとき、大分県高崎山の猿たちの中にイモを洗う猿がいるのが発見され、やがて他の猿たちにもイモ洗いの行動は広がっていき、現在もこれは行われているようです。



この猿のイモ洗い現象が、遠く離れた幸島から高崎山へ伝播した現象を、米国のライアル・ワトソンにより「百匹目の猿現象」と名付けられ発表されました。

このように、「百匹目の猿現象」とは、ある集団の中で、誰かが、何か新しいことを始めると、その集団内で必ずまねされますが、そのまねが一定のパーセントに達すると、遠く離れた所でも同じ現象が始まり、社会全体に浸透していくというメカニズムのことです。

「百匹目の猿現象」が広がり、社会全体に浸透していくためには、私たち一人ひとりが自ら率先して、よい思いや正しい行いを実践することが必要との記事を読み、感動いたしました。

弊社では、社員の誕生日には花束を贈り、社員同士バースデーカードを書き、両親あて感謝の手紙を書くよう勧めていますが、このようなことが伝播してくれたらと思っています。

(未来への言霊 船井幸雄 徳間書店より引用)

代表取締役社長 岡崎純二



## タイピック社内木鶏(月刊「致知」を読んでの感想)

### 「掃除の徳力」Y・S

「産廃業」と聞くと偏見を持ちそうですが環境団体のバッシングにも屈せず「世の中の不要になったものを片づけるすばらしい仕事」だと自分の仕事に誇りを持って経営を挽回された石坂社長はすばらしい方だと思います。

人は外見や見栄えで偏見をもったり差別をしたりしますが、どんな仕事でも信念と自信を持ちブレない経営をすることによって社員も気持ち良く仕事ができるものなのだと思います。そうじの効果として、精神的効果、肉体的効果、経済的効果、時間的効果、对人的効果があるということですが、確かに、そうじをすることによって自分の仕事の効率だけではなく会社にとっても大きなメリットが沢山あることを改めて認識しました。常に整理整頓を心がけより良い環境を作ることによって「良い気」が流れる様にしていきたいと思います。

### 「掃除の徳力」N・M

「世の中の不要になったものを片づける素晴らしい仕事だ。誰かがやらなくてはならない大事な仕事だ」という強い想いと、「自分たちの仕事を誇ってもらえる会社になりたい」という一念でやってこられた石坂社長を同じ女性としてすごいなあと思いました。社員教育をするために、挨拶や整理整頓、そうじをしっかりとすることから始められ、会社の中を見える化していったとありました。私は家でBOXや目隠しのカーテンで物を隠し、すっきり見せるという片付け術をやっているのですが、物を隠すことで部屋は綺麗に見えるけれど、しまっていることを忘れて同じ物を買ってしまったり、しまいっぱなしで使わない物があることに思い当り、家の中も整理整頓しようと思いました。そうじとはただその場を綺麗にするだけではダメだということに気付かされました。職場でも家庭でも、綺麗な場所で心許せる人といいコミュニケーションを築いてこそ、良い方向に成長していけるのだと思いました。1つ1つ自分のできることから実践していこうと思います。



# 兎澤直樹の「兎に角」伝えたいこと

『勉強好きとは何か』

みなさん、こんにちは。株式会社 船井総合研究所の兎澤（とざわ）と申します。  
先月号から、タイピック便りのコラムを書かせていただいております。  
今回で2回目の掲載となります。よろしくお願いいたします。



船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしているコンサルティング会社です。  
そして、私たちの会社の創業者、船井幸雄は「成功の三条件」として、「素直」「勉強好き」「プラス発想」を挙げています。

今回はその中でも、「素直」という言葉についてお話させていただきました。

「素直」とは、「情報を否定も肯定もせず、ありのままにいったん受け入れること」ということだとお伝えしました。今回お伝えしたいのは、2つ目の「勉強好き」という言葉についてです。

「勉強好き」とは何でしょうか？学校の成績が良いことでしょうか？実は、必ずしもそうではありません。「勉強好き」というのは、「知らないことを知ることが好きなこと、新しいことに挑戦することが好きなこと」を言います。

ただし、人間、どんな分野でも意欲的に勉強しようと思えるかというと、そうでもありません。やはり、人それぞれ好きなこととそうでないこと、得意なこととそうでないことがあります。自分や社員の「勉強好き」な部分を引き出すためには、やはりその人の好きなことや得意なこと、長所に目を向けて、そこを伸ばすことを考えることでしょう。人は、短所や苦手な分野を補うための勉強にはあまり意欲的になれませんが、「君はこういうことが得意だからここを伸ばすためにこういうことを勉強するといいいよ。」などと言われると、前向きに勉強していこうという意欲も湧きやすいのです。船井総研ではこれを、「長所伸展」と言います。短所是正より長所伸展の方が、人は「勉強好き」になれて、成長しやすく、人としての魅力もいっそう増してくるのです。

年齢がいくつになっても、知らないことを知る謙虚さと「勉強好き」の姿勢を持ち続けていきたいものです。



## 今月の TOPICS

### iPad の裏ワザ その⑦

「急に画面が固まってしまった」「カメラ機能が使えなくなった」など出来ていたことが急にできなくなった時は、iPad を再起動してみましょう。再起動・強制再起動の2つの方法があります。

#### ◆ iPad の再起動の方法

iPad の電源をオフにし、再度オンにすることで iPad を再起動することができます。

- ① 本体右上にある[電源]ボタンを数秒長押しします。
- ② 画面上部に表示される「電源オフ」というスライドバーをスライドします。
- ③ 電源が完全に切れたら、[電源]ボタンを数秒長押しします。

#### ◆ iPad の強制再起動の方法（iPad が完全に操作を受け付けない時や、[電源]ボタンで電源が切れない時）

- ① スリープボタンと[ホーム]ボタンを同時に 10 秒間（画面が暗くなるまで）長押しします。



[電源]ボタン



[ホーム]ボタン

くわしくは、是非、担当営業マンにお問い合わせください。



# ゆっくりやさしいパソコン教室の感動日記

浜田教室長 西田寿喜

2009年7月。教室開校の説明会に老夫婦で参加いただいたのが出逢いでした。90歳のご高齢ながら、今からパソコンを習い「自分史」を作成したいとの事で入会されました。パソコン電源の入れ方から始まり、文字入力、漢字変換と熱心にこなされ「自分史」作成に着手するには1年の時間が必要でした。何回もの校正を経て1冊の本が姿を現すまでに更に1年。92歳にして、生涯の1冊として渾身の「自分史」が発行されました。新聞各紙に掲載され、講演会も多忙にこなされました。その1冊を手にする時、今でもずしりと重く、鮮明に当時の事を思い出します。静かで深く、そして、おそらくこれからも幾度も感動と感謝を体感することだろうと思います。



益田教室 清水壮一

教室に長年通ってきていただいているHさん(80代女性)が、うれしそうに「先生これ見て」と案内状のようなものを見せて下さいました。日美展という全国規模の展覧会に応募した色鉛筆画の審査結果でした。2作品のうち1つが審査員奨励賞と山陰中央新報社賞を受賞されました。Hさんは去年から通信教育で初めて色鉛筆画を始められたばかりだそうだが、その前からパソコンで水彩画を描かれていて、かなりの腕前になっておられました。常に新しいことに挑戦されるバイタリティにあらためて感動し、うれしくなりました。私もこんな風に素敵に年を取りたいと思います。



宇治教室 中山貴志

この6月で1周年を迎えた宇治教室。山口県出身の私が京都に来た時、知り合いと呼べる人は、妻と子供、妻の両親を含めてもたった4人でした。そんな中、不安や心細さを埋めてもらえたのは、教室の生徒のみなさんでした。家族同様に温かく接していただけるみなさんに、いつしかこの宇治が私の居場所へと変わりました。1年が過ぎ、今ではこの教室で出会った方々だけでも100人を超える数となりました。「1年経つのは早いねえ」そんな言葉を交わせる方々がいるという事が、私にとっては何物にも代えがたい喜びとなっています。



廿日市教室 今田直美

今年の私の誕生日にいただいたワードで作成したバースデーカード。たまたま私の誕生日を知ったMさんがこっそり？と教室で作成してくれました。自分の誕生日って『また年をとってしまった』と、あまり嬉しくないと思っていたのですが、誰かに祝ってもらって、こんなに嬉しいことなんだ!!ととても嬉しくほっこり(^^)した一日を過ごすことができました。この感動を今度は私が、皆さんにお届けして行きたいと思います。



萩教室 長井紗樹

ゆっくりやさしいパソコン教室では、ペットボトルのキャップを集め、世界の子供達にワクチンを届ける「エコキャップ」活動を行っています。萩教室でも、沢山の生徒さんがキャップを持って来て下さっています。生徒のMさんは毎月必ずキャップを持って来て下さっていましたが、昨年の秋にお仕事の都合で、教室を卒業されました。数ヶ月経った頃、以前と変わらぬ笑顔でMさんが沢山のキャップが入った袋を持って来て下さいました。今でも、仕事帰りに持って来て下さいます。何気ないことのように、この為だけに仕事帰りに足を運んで下さるお気持ちにとっても感動し、そしてMさんの優しさを、心から嬉しく思っています。

